

平成27年度 事務事業マネジメントシート

事業名	芸術・文化振興事業			会計	款	項	目	大事	小事
				01	10	05	01	05	01
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）		主管課	生涯学習課				
施策	3-4	ながれやま市民文化の継承と醸成		主管課長	玉田 雅則				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民全般	意図	市民一人ひとりが芸術文化に接することにより、生活にゆとりと安らぎをもち、また、心のつながりやお互いを理解し、尊重しあう社会を育成する。
事業内容	四季の花々展の開催、モニュメント管理等。			
事業開始から現在までの状況変化	平成22年度より芸術・文化振興事業の中にあつた、サロンコンサート、市民ギャラリー展、市民音楽祭は各事業別となり、大部分をアウトソーシングで実施。古典芸能鑑賞会は平成23年度からマンパワーにて実施していたが、平成25年度で終了した。また、文化協会への補助金等を通しての支援も実施している。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
指標	① 古典芸能鑑賞会参加者数	98			人	↑↑↑	（平成25年度で終了）
	② 文化協会事業の参加者数		16,501	17,280	人	↑↑↑	総会資料からの実績値
	③						
	④						
指標で表すことができない定性的な成果	文化協会については、平成27年度は東葛飾文化祭の主管市として、開催にあたり尽力した。また、加盟団体が2団体増加した。			目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 市役所ロビーでの四季の花々展（隔月）、流山おおたかの森駅構内にあるモニュメントの管理等を行っている。文化協会の行っている事業に対して補助金を交付し、文化協会の事業を支援している。			
事務事業のコスト		平成25年度	平成26年度	平成27年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		2,748,737	938,450	961,159			
事業費(b)(円)		2,608,997	800,250	810,559			
うち一般財源		2,608,997	800,250	810,559			
職員給与費(c)(円)		139,740	138,200	150,600			
人役・職員(人)		0.02	0.02	0.02			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H27)の改善計画	文化団体が文化芸術事業を展開するため、財源確保について民間等の助成制度の情報提供を行うとともに、参加・出演の機会についての募集情報を提供する。	③取組の課題	文化芸術振興条例の施行により、文化協会等が実施する文化芸術振興につながる事業の推進。
②今年度(H27)に実施した取組	文化協会所属の団体が、市の推薦を受け、千葉県代表として国民文化祭に参加した。	④今後の改善計画	文化団体の構成員が高齢化する中で、既存の分野以外への働きかけや、若中年層の文化芸術ニーズを把握し、効率的な事業展開を促進したい。